

西 区

北 区

大宮区

見沼区

中央区

桜 区

浦和区

南 区

緑 区

岩槻区

第5部

岩 槻 区

【特性】▶岩槻区は、中世から鎌倉街道など主要道路と荒川（現在の元荒川）が交差する交通の要衝として重視され、室町時代以降、城下町として発展し、江戸時代には日光御成道の宿場町としても栄えた歴史のまちです。また、人形のまちとして全国的にも有名であり、岩槻城址をはじめ様々な歴史的な資源と、人形店の並ぶ街並みや人形にちなんだ祭り、イベントなどがあいまって、区内外の人々の交流が生み出されています。台地上には屋敷林や社寺林が残され、これを取り囲むように連なる斜面林、そして、綾瀬川や元荒川をはじめとする水辺がともに緑のネットワークを形成しており、水と緑に恵まれた居住空間を提供しています。

都市基盤・環境

区の中央を東武野田線が東西に延び、岩槻駅、東岩槻駅の2駅と大宮駅とを結ぶ、区民の重要な足となっています。現在、地下鉄7号線の延伸促進への取り組みが行われており、南北方向の新しい軸の形成が期待されています。主要な道路としては、国道122号、国道16号及び国道463号、さいたま幸手線（日光御成道）、越谷岩槻線などがあり、道路体系の骨格を形成しているほか、東北自動車道岩槻インターチェンジがあって、産業の大動脈となっています。

市街地は鉄道沿線にまともっており、全体的には戸建住宅を中心としています。人形店の並ぶ商店街、伝統ある寺社や岩槻城址などの歴史文化的資源、区役所や各種公共施設など、さまざまな魅力と機能が集まっており、個性ある拠点となっています。また、市街地の周囲には緑地や農地が広がり、特に、台地上の屋敷林や雑木林とこれらを取り囲む斜面林が、元荒川、綾瀬川と一体となって織りなす風景は、水辺と緑に恵まれた岩槻区を象徴するものとして区民に親しまれています。

コミュニティ施設、文化、スポーツ施設など、身近な公共施設も概ね整備されていますが、一方で、急激な都市化に都市基盤の整備が追いつかなかった面があり、下水処理施設の整備、子どもやお年寄り、障害のある人でも安心して歩ける生活道路や、自転車利用にも配慮した道路の整備、市街地におけるオープンスペースの確保などを進め、潤いのある安全な生活環境の確立に取り組む必要があります。

産 業

全国的にも知名度の高い人形づくりは400年近い歴史があり、伝統的工芸品にも指定されていますが、年々事業所が減少する傾向にあり、観光などと連携した活性化が模索されています。また、北部の岩槻工業団地を中心に、機械、金属などの製造業も集積し、市内の製造業の拠点として重要な役割を担っています。農業も10区のなかで最も活発であり、米のほかクワイ、ネギなどの野菜、アサガオ、シクラメンなどの花や苗木の生産に特色があります。

地域資源

国指定の史跡真福寺貝塚、三蔵法師とのゆかりが伝えられる名利慈恩寺、桜の名所としても知られる岩槻城址公園、時の鐘、遷喬館、さらに日光御成道の杉並木や街並みなど、古くからの歴史を伝える資源が岩槻区には多く残されています。人形づくりと縁の深い催しも多く、流しびな、人形供養、岩槻まつり（ジャンボ雛段）などが、区内外の人々に親しまれています。

緑と水辺も岩槻区を象徴する資源であり、なかでも、キタミソウやチョウジソウの自生地のある元荒川緑地や赤坂沼には希少な動植物が生息しており、将来世代に継ぐべき貴重な自然空間となっています。



岩槻城址公園

コミュニティ

長い歴史のある地域コミュニティ活動や、ボランティア活動が活発な区ですが、新しく転入してきた住民や若い世代の参加をより進めるため、地域での交流を深める必要があります。また、区内に住む外国籍の住民の割合が増えており、区民と行政が連携して身近な生活レベルでの国際化を進めていくことも、よりよいコミュニティづくりに向けて重要となっています。



西 区

北 区

大宮区

見沼区

中央区

桜 区

浦和区

南 区

緑 区

岩槻区

西 区

北 区

大宮区

見沼区

中央区

桜 区

浦和区

南 区

緑 区

岩槻区

第5部

岩槻区の将来像

自然と歴史、文化を楽しむまち

岩槻区には豊かな緑と水辺、長い歴史を持つ神社仏閣、城下町や人形のまちとしての地域文化など、多彩な魅力があります。安心して心豊かな生活を送ることのできるまちの実現を基本に、これらの魅力を守り、生かしながら、農業や商工業、観光など産業面での新しい展開も促し、住んでいる人、訪れる人が岩槻区のよさを共感できるまちづくりを進めます。

まちづくりのポイント

1 区民一人ひとりを尊重した、人にやさしく、ふれあいのあるまちづくり

- 住民同士の対話やふれあいを深め、若い世代も参加して地域づくり活動を展開する、活力豊かなコミュニティの醸成
- 住民があらゆる分野で交流し、多様な文化を認め合い、暮らしを支えあう身近な国際交流の推進



人形のまち岩槻まつり

2 健康で安心のまちづくり

- スポーツなど健康づくりのための機会の充実と、安心して健やかな生活を営める保健・医療・福祉の環境づくりの推進
- 住民、事業所、行政が連携し、身近な地域で子育てや高齢者、障害者の自立した生活を支えあい、いつでも、どこでも安心して暮らせる地域福祉社会の形成

3 自然・歴史・文化を生かした、活力あるまちづくり

- 元荒川や赤坂沼、屋敷林・雑木林や斜面林など豊かな自然環境を守り、育てる活動の充実と、水辺と緑のネットワーク化の推進
- 区の歴史や文化にねざした「岩槻らしさ」を磨き、発信し、観光をはじめ産業振興や交流の拡大に結びつける創意ある取り組みの展開
- 優れた芸術文化に触れる機会の充実、区民の多彩な芸術文化活動の促進など、豊かな文化環



時の鐘



岩槻の古式土俵入り

境づくりの推進による、個性ある地域文化の育成

- 環境に優しく、安全な食料を提供する農業の振興、伝統産業の技を生かした新しい取り組みの拡大など地域産業の活性化

4 生活環境の整った、安全で暮らしやすいまちづくり

- 誰もが安全に歩ける人にやさしいみちづくりや自転車の走りやすい道路の整備、地下鉄7号線の延伸をはじめ公共交通の拡充など、人と環境に配慮した交通の確保
- 地域と行政が連携した防災体制の充実、市街地の安全性の向上など、災害に強いまちづくりの推進
- 緑や水辺、歴史、文化が溶け合う美しい景観に恵まれた、ゆとりある居住空間の維持、創出

5 区民主役のまちづくり

- 区民が気軽にまちづくりに参加できるようにするための、多様な機会や情報の提供
- 区民と行政とのパートナーシップの確立、区民の主体的なまちづくり活動に対する支援などによる、区民と行政がともに考え、はぐくむまちづくりの推進

■ 人口の見通し

項 目	面積 (a) (km ²)	人 口 (b)		人口密度 (b/a)	
		平成 17 年 (人)	平成 25 年見通し (人)	平成 17 年 (人／km ²)	平成 25 年見通し (人／km ²)
岩槻区 (A)	49.16	111,683	124,000	2,272	2,500
さいたま市 (B)	217.49	1,185,777	1,268,000	5,452	5,800
市全体に占める割合 (A/B)	22.6%	9.4%	9.8%	—	—

注1：面積は、国土地理院「平成16年 全国都道府県市区町村別面積調」による。

注2：平成17年の人口は、住民基本台帳及び外国人登録による10月1日現在の人口。平成25年見通しは概数。

注3：端数処理の関係上、区ごとの「市全体に占める割合」を合計すると100にならないことがあります。

西 区

北 区

大宮区

見沼区

中央区

桜 区

浦和区

南 区

緑 区

岩槻区